

# ともに生きる

## クローズアップ現代+ ピーター2.0 サイボーグとして生きる

放送日:2021年11月24日 放送時間:30分



対象校種 小学校高学年 中学校 高校

対象教科 道徳 総合

### この番組の良さ



#### ● 未来のAIと人類のあり方とは

イギリス人のピーター・スコット・モーガンさんは、全身の筋肉が徐々に動かなくなる難病ALSと診断され、余命2年と告げられます。彼が選んだのは、呼吸や消化、会話など失われていく体の機能を、次々と機械に置き換え、全身をサイボーグ化することで難病に果敢に立ち向かおうという道です。人はどこまで肉体にテクノロジーを取り込んでいくのか……。番組の視聴により、未来のAIと人類のあり方を考えることができます。

#### ● 多様性を尊重し合う社会とは

"人類初のサイボーグ"として生きる道を選んだピーターさんは、それを支えるパートナーのフランスさんや、多くの支援者・技術者・企業とともに、様々な苦難を乗り越えていきます。そうした姿から、多様性を尊重し合う社会を構築していくことの意義を深く感じ取ることができます。

### 番組活用のポイント

#### ● 2045年に迫るといふシンギュラリティについて考える

シンギュラリティとは、現時点で予測されているスピードでAIが進化を続けた場合に、AIの性能が人類の知能を上回ると見込まれる特異点を指します。コンピュータが、より賢い知性を自律的に生み出せるまでに進化する時期とも言われます。真偽のほどは誰にも分かりませんが、そのような議論が起きるほど、近い将来AIが進化し人間の脳を追い越す時代が来ることは間違いないでしょう。

番組を通して、世界中のテクノロジーを結集した、"人類初のサイボーグ"として生きる道を選んだピーターさんの日常に触れることで、高度化したAIが人間に与える影響とは何か、人間とAIはどのように共存できるのかについて議論することができ、子どもたちが生きる近未来の社会を思い描ききっかけになるでしょう。

#### ● 見えない壁に気づき 多様性を尊重する態度を養う

自らがゲイであることを告白したピーターさんは、パートナーのフランスさんと共に、長年に及ぶ社会の強い風当たりを乗り越え、イギリスでは初めての、同性のカップルとして公式に認められます。そんな矢先、自身が難病であるALSと診断され、余命2年と告げられました。しかし、自分の肉体をロボット技術やAIで置き換え、脳とAIが融合する近未来を模索することで強く生きていきます。絶望的な状況に置かれても決してあきらめず、常識を打ち破って宿命に抗い、自ら運命を切り開いていくピーターさんの生き様は、見るものに生きる勇気を与えてくれ、道徳の時間等で活用できます。

自らを"ネオ・ヒューマン"と称するピーターさんの姿から、多様な性のあり方や、年齢、障害の有無、国籍、価値観や文化の違いなどに関わらず、互いの人権を尊重し、個性を認め合いながら、様々な人種や文化、志向の人とも共存共生していくことの大切さを学ぶことができるでしょう。命の尊厳の一端に触れることで、子どもたちが真剣に自らの生き方について、深く見つめる機会を作るようにしていくことが大切です。



執筆者  
沼津市立第四小学校  
教頭 加納 真